

使用者	年齢	性別	疾患名	症状	パロ導入の目的	反応	期間 (日)	使用前の状況	使用後の状況
Aさん	70台 後半	女	パーキンソン症候群 レビー小体型認知症	歩行障害 記憶障害	不安の軽減 対人交流	好反応	10	他者との交流がなく、不安な様子で落ち着きなく過ごしていた。訓練場面では、歩く人や物音など、課題以外の刺激に反応してしまい、注意がそれやすかった。	訓練場面では、課題とパロについて注意が向き、注意を持続できる時間が増えた。パロを介した他者交流場面が増加した。
Bさん	80台 後半	女	脳梗塞(左放線冠-基底核) 右鎖骨骨折	注意障害 問題行動(徘徊)	不安の軽減 徘徊行動の減少	好反応	21	昼夜問わず徘徊するため、センサーマットを設置していた。夜間は帰宅願望有り、荷物を片付けることがあった。	3人部屋の病室にパロを置くと、パロの話題で他者との交流が増え、徘徊することが無くなる。帰宅願望を訴えることも軽減した。
Cさん	60台 後半	女	頭部外傷 両側前頭葉脳挫傷 外傷性くも膜下出血 急性硬膜下血腫	歩行障害 発動性低下	発動性の向上	好反応	5	発動性が低く、臥床傾向。基本動作、ADLにおいて声かけや促しが常に必要であった。	パロの頭を撫でたり、呼びかけるなど発動性の向上がみられ、約20分間程度注意が持続した。 *導入回数が増えたと反応は薄れてきた
Dさん	80台 後半	女	くも膜下出血	歩行障害 脱抑制 注意障害	不安の軽減	好反応	1	病棟で目が離せず、不安な様子があった。排泄等の欲求があった際に、易転倒性があり、常に監視が必要であった。	導入時、笑顔となり、撫でたり声をかけるなどの行為が見られ、10分程度注意が持続し、目を離せる時間ができた。
Eさん	70台 後半	女	左視床出血 糖尿病	右片麻痺 発動性低下 左半側空間無視 失語症	発動性の向上 座位時間延長	好反応	1	ベッドで過ごすことが多く、車椅子は1時間程度で疲労、生活場面でも、発動性低下が見られた。	パロの喃き声や反応を見て笑顔になり、自ら撫でるなど一時的に自発的な行動が増えた。 *時間が経つと、関心は薄れた。
Fさん	70台 前半	男	頭部外傷 右脳挫傷 右視神経損傷 多発顔面骨折 多発骨盤骨折	見当識障害 発動性低下 注意障害 記憶障害	発動性の向上	好反応	1	発動性低下から離床拒否が目立ち、訓練ができない状況であった。	パロを見かけると、自発的に撫でる行為や、笑顔で話しかけられる。
Gさん	80台 前半	女	心房性脳塞栓症 Alzheimer型認知症	右片麻痺 注意障害 記憶障害 失語症	不安の軽減 徘徊行動の減少	好反応	54	重度の見当識、記憶障害により、焦燥感や帰宅願望が強い。徘徊行為が頻回で常時、目を離せず、作業活動への集中持続は2分程度であった。	当初、興味を示さなかったが、訓練時に同行することで、周囲とのコミュニケーションが増加した。また、そばに置いて、作業課題を行うことで、課題やパロへの注意が可能となり、1時間の作業活動が行えるようになった。日中の徘徊も消失した。
Hさん	60台 後半	女	頭部外傷 急性硬膜外血腫 両上肢切断	発動性低下 注意障害 記憶障害 遂行機能障害 失語症	発動性の向上	嫌反応	1	発動性低下から離床拒否が目立ち、訓練ができない状況であった。	パロを提示すると、「気持ち悪い、持ってこないで」と拒否される。以降は使用できず。